

昭和 6 3 年度

児童生徒の実態に即した保健指導資料の開発

～ビデオ教材の作成を中心に～

川崎市総合教育センター健康教育研究会議

児童生徒の実態に即した保健指導資料の開発

健康教育研究会議

森 美代¹ 井上初枝² 仁熊るみ子³ 佐々木良子⁴
田中佐和子⁵ (昭和62年度)

要 約

社会環境の変化や家族構成・役割分担・価値感の多様化に伴い、当然家庭でされるべき健康教育の基本である「生活習慣」が身につけていない現状においては、生涯にわたる健康観の育成は不可決である。そこで、学校で行われている保健指導をより効果的にすすめるための資料を考えたとき、視覚と聴覚の二面に訴えられる映像教材こそ、現代に生きる子どもには適切な資料になりうるものと考え、ビデオ教材の開発に取り組んだ。

① ビデオによる映像の効果について

- ・共通の映像教材を使用することにより指導内容の基本がおさえやすくなる。
- ・言葉では表現しにくいものを、映像により具体的に見せられ指導しやすくなる。
- ・解説的になりがちな指導に変化をあたえる。
- ・特に身近に題材を得ることのできる自作教材は、受け手に親しみと興味を引き易い。
- ・児童生徒の実態をとらえ提示できる。
- ・制作の過程で児童生徒の発想を生かすことができる。

② 制作したビデオ教材(各3~5分) ・菌の健康 ・せいけつ1.2 ・けがをしたとき

キーワード：保健指導，健康教育，VTR教材，教材開発，学級指導，学校保健

目 次

はじめに	4. ビデオ教材の制作	224
I 主題設定の理由	(1)作成教材選定の視点	222 224
II 研究のねらい	(2)試作ビデオの作成観点と具体化	222 224
III 研究の内容と方法	IV 教材作成の実際と反省	222 224
1. 研究のとりくみと経過	V まとめと今後の課題	222 225
2. 保健指導題材一覧表(学年別)の作成	参考文献・指導助言者	223 225
3. 保健指導における映像教材の位置づけ	資料	223 226

¹川崎市総合教育センター(指導主事)

²川崎市立菅生小学校(研修員)

³川崎市立菅生小学校(研修員)

⁴川崎市立桜本中学校(研修員)

⁵川崎市総合教育センター(指導主事)

はじめに

社会環境の変化に伴い、生活はより豊かにより便利になってはいるものの、家庭教育の低下、子ども達を取りまく環境、学力偏重の風潮などは、子どもから遊びの空間と時間を取り上げている。

医学の進歩や衛生思想は、乳児死亡を減少させ学校から感染症疾患を少なくはしたものの、児童生徒の健康観の基になる家庭が、構造の変化や価値観の多様化によって「生涯にわたって健康である」ための教育的要素を十分に備えているとは言えない。

そこで、一人一人の子どもに自分の健康状態を認識させ、健康への意識を高め現在から将来にわたって健康であるためには、どのようにすればよいかを理解させる健康教育の重要性が認識されている時、指導者の活動を援助し指導効果を高める為に優れた教材が必要となると考えられる。

I 主題設定の理由

学校において行われる保健指導は、保健学習とともに健康の保持増進をはかる健康教育の二大構成要素となっている。そのねらいは児童生徒が健康安全についての問題を自ら発見し自主的に解決していく実践力を育てることにある。この保健指導の現状を見ると指導計画の作成や指導時間の確保、指導内容等多くの検討すべき課題がある。

現在各学校では、限られた時間の中で、児童生徒の態度の変容を促すことをめざした保健指導がなされているが、指導のねらいや児童生徒の実態に即した適切な教材が得られず、自作映像教材の必要性が高まっている。そこで、総合教育センターの機能を生かして、指導者の活動を援助し保健指導の効果を高めるビデオ教材の作成を考えた。又、制作の視点や利用事例を組み込んだ指導資料を作ることにより学級指導等での、活用の向上を図ってみた。

II 研究のねらい

- ・児童生徒の実態に即したビデオ教材を作成することにより、指導者の活動を援助し指導の効果を高めるとともに、教師の創意に寄与する。
- ・映像教材を提示することにより、児童生徒に具体的に健康問題を気づかせ、知識理解をもたせ行動化への意欲をもたせる。

III 研究の内容と方法

1. 研究のとりくみと経過

映像教材作成にあたり、児童生徒の健康状態と保健指導の現状と課題について、文献での学習、資料の収集や整理を行うとともに、日頃の保健室経営で気づく事・指導事例等を取り上げることにより、次のように研究の構想を立てた。

(1)研究計画の立案

(2)教材作成のための基礎準備

- ・文献・資料の収集と研究
- ・保健指導の全体計画立案・検討

・映像教材の特性と活用についての学習

(3)映像教材作成のための技術研修

(4)指導資料開発の題材検討

(5)教材の試作と学級指導での検証

・指導原案の作成 反省と評価

(6)ビデオ教材の制作

- ・ 歯の健康
- ・ せいげつ 1. 2
- ・ けがをしたとき

2. 保健指導題材一覧表(学年別)の作成

保健指導を効果的に進めるために、一年間の指導の見通しを持った計画を作成する必要がある。次の点に配慮しながら保健指導題材一覧表を作成し、作成教材の題材を選んだ。(資料1)

* 保健指導題材一覧表作成上の視点

- 学校全体の教育計画との関連を考える。
- 健康生活の「実践化を促す指導」であるという保健指導のねらいをふまえる。
- 指導内容は、児童生徒の実態を把握し具体的な問題を設定する。
- 主題はできるだけ具体的なものにする。
- 累積的な指導が行われるようにする。
- 具体的な指導の場を考える。

- 児童生徒の発達段階を考慮する。
- 季節や学校行事との関連を考える。

3. 保健指導における映像教材の位置づけ

映像教材は、その内容によって、資料的教材・代行的教材・直接教材などが考えられる。

保健指導においては、「基本的な態度や習慣を養う」という目的からも、日常生活の場面を生き生きとした形で提示できる教材、動きのある教材、つまりビデオ教材は効果が高い。

(1)映像による前提条件が設定できるため、指導内容の基本線がおさえやすくなるとともに、言葉では表現しにくいものを具体的に示すことができる。またともすれば説明的になりがちな指導に変化を与え指導効果を高められる。

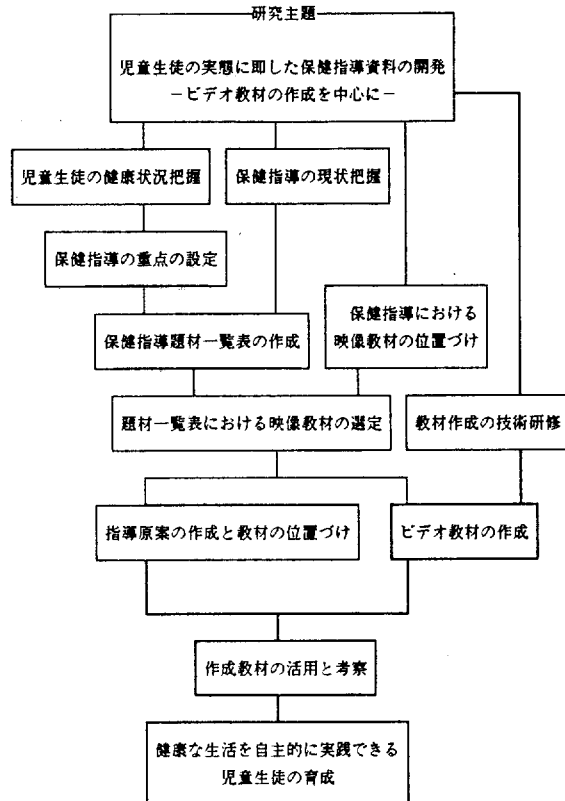
(2)自作教材の場合には、身近に題材を得ることができるので受け手に親しみを与え、興味をひきやすい。児童生徒の実態を適切にとらえて提示したり、また制作の課程で児童生徒の発想を活かすこともできる。

(3)具体的な活用の場としては、学級指導、保健室におけるグループ指導や個別指導、行事における事前指導、あるいは校内放送などがある。

(4)指導過程におけるビデオ教材の位置づけ。

- 導入の段階で………問題に気づかせる。

研究の構想



○展開の段階で……………考えさせる。

知識を提供する。

理解を助ける。(写真1.)

実技を見せる。(写真2.)

○まとめの段階で……………行動化への意欲を持たせる。

(5)想定されるビデオ教材の利用形態

- 全体を通して見せる。
 - 事前指導をする。
 - 事後指導をする。
 - 何もしない。

○VTRをとめて見せる——解説を加える。

○部分的に見せる——教師の指導の中に組み込む。

4. ビデオ教材の制作

ビデオの制作にあたり、作成教材の選定を次のように考えた。

(1)作成教材選定の視点

- ①研究主題にそって児童生徒の実態からみて必要性の高いもの。
- ②映像を用いることの効果が高いと思われるもの。
- ③児童生徒の実態がすぐに教材として指導に反映できるもの。
- ④既成の適切な教材が得られにくいもの。

(2)試作ビデオの作成観点の具体化

6月のむし歯予防週間には、各学校で「歯の健康」に関する指導が行われているので、上述の視点①②に当てはまる指導資料、及び導入の段階で活用するものとして「??歯??-歯の健康-」と題する(小学校用)5分ものを試作した。そのビデオを使用し2校で学級指導をしてもらい教師と児童の反応を調べ(資料2・3・4・5)その反省に立って作成方針を具体化した。

IV 教材作成の実際と反省

昭和62年度は、ビデオ教材作成の基本的な考え方や手順について学んだ。同時に作成教材として、小学校の「寒さに負けないからだ」・中学校の「思春期の心とからだ」を試作したが、撮影に関する知識と技術の未熟からよい作品ができなかった。映像が表面的で指導視点のあるものにならなかった。昭和63年度は「歯の健康」の試作後、次のように制作のねらいを定め教材を開発した。

- 歯の保健指導の資料として、染め出しやうがいの実験をとおして歯の汚れを再確認させ、学年相応の指導ポイントを置き、正しい歯みがきの定着、実践化を図る。学習活動の導入又は展開・まとめの部分で活用できる映像教材とする。
- 「せいけつ」に関する指導資料として、手洗いの順序・科学的な実験を通してハンカチや下着の汚れを理解させ、体の清潔に関心を持たせ実践化を図る。短時間指導でのまとめの部分で活用できる映像教材とする。
- 「けがの手当て」に関する指導資料としては、「子どもたちにできる救急処置」と考え、日常



写真1. 歯の磨き方



写真2. 歯みがきの実習

見られる「けが」について、保健室に行くまでや保健室内の様子を収録し、実践化を図れる映像教材とする。

*制作ビデオ

・歯の健康（小全学年，4分） ・みがいているかな，きれいかな（小低学年，5分） ・きれいな歯じょうぶな歯（小中学年，5分） ・いっしょう使う歯（小高学年，6分） ・僕たち，私たちの歯（中全学年，10分） ・私たちの歯はもう大人（中全学年，13分） ・せいけつ1・2（小低学年，各5分） ・けがをしたとき（小全学年，5分） ・保健室の利用の仕方（中1学年，5分）

V まとめと今後の課題

今後制作ビデオを活用し，保健指導の目的からも児童生徒の実態をより具体的にとらえる調査や指導後の追跡調査など実施して，効果的な教材に改良していく必要がある。また，保健指導は指導のタイミングも大事であるから，児童生徒の様々な実態をふまえた映像や児童生徒の発想を生かした教材を作るためにも，制作技術の研修はもとより，題材収集・発掘への努力が必要である。

・参考文献

大内茂男 他「視聴覚教育の理論と研究」日本放送教育協会，1979年
波多野完治 他「映像と教育」日本放送教育協会，1985年
野田 一郎「教師のためのビデオ制作入門」日本放送教育協会，1984年
吉田瑩一郎 他「現代学校保健全集4 保健指導」ぎょうせい，1983年
吉田瑩一郎 他「保健・安全・学校給食・性の指導と展開」ぎょうせい，1987年
数見隆生「教育としての学校保健」青木書店，1985年
日本学校保健会「歯の保健指導」東山書房，1986年
丸森賢二・今村嘉男共著「ブラッシング指導」医歯薬出版，1983年
57年度島根県教育センター「研究紀要・映像教材の開発」
62年川崎市総合教育センター「研究紀要・社会科（川崎の郷土資料）教材データベースの開発」

・指導助言者

東京学芸大学教授（専門員） 波多野義郎先生 川崎市総合教育センター指導主事 原 勤
川崎市総合教育センター第三研究室長 村井 守

月	小学校の主題	低学年	中学年	高学年	中学校の主題	全学年
4	<ul style="list-style-type: none"> わたしのからだ トイレの使い方 学校をきれいに 	健康診断の目的と受け方 みんなで使うトイレ掃除の順番と用具の使い方	健康診断の上手な受け方 正しいトイレの使い方 上手な掃除の仕方	健康状態を知る 気持ちよいトイレ 能率的な掃除の仕方	<ul style="list-style-type: none"> 私のからだ 保健室の使い方 	自分でおこなう健康管理 保健室の使い方
5	<ul style="list-style-type: none"> 清潔なからだ 病気の治療 ケガの手あて 	手の洗い方 見つかった病気を治す すりきずの手あて	つめの切り方と汗の始末 すすんで病気を治す すりきず・きりきず・鼻血の手あて	身のまわりの清潔とエチケット 病気の予防と早期治療 自分でする応急処置	<ul style="list-style-type: none"> 中学生のからだ 病気の治療 傷害防止 	思春期の心身の特性と自分 自分の健康状態と早期治療 運動中の傷害防止
6	<ul style="list-style-type: none"> 歯の健康 水泳と病気 つゆ時の過ごし方 	食べたらみがく 泳いではいけない時 雨の日の身じたく	よごれやすい歯のみがき方 プールでうつる病気 つゆ時の衣服の調節	むし歯の原因と体への影響 水泳時の衛生と安全 室内遊びとけがの予防	<ul style="list-style-type: none"> 歯の健康 水泳時の注意 つゆ時の健康 	歯周疾患の原因と予防 水泳のきまりと事故防止 つゆ時の食べ物・飲み物
7	<ul style="list-style-type: none"> 夏の健康と夏休みの過ごし方 	早ね早起き	日課表をつくろう	休み中の生活設計	<ul style="list-style-type: none"> 夏休みの生活 	夏休みの有意義な過ごし方
9	<ul style="list-style-type: none"> からだの成長 疲れのとり方 ケガの予防 	4月よりどれぐらい大きくなったか わたしたちの睡眠時間 外あそびをする時	食べ物と栄養 運動と疲れ ケガをしやすい場所	大きくなるからだ 運動と休養のとり方 ケガをする時	<ul style="list-style-type: none"> からだの成長 夏休みの反省 基本的生活習慣 	からだの発育の個人差 夏休みの反省と残暑をのりきる生活習慣の確立をめざして
10	<ul style="list-style-type: none"> 目の健康 よい姿勢 じょうぶなからだ 	本の読み方 すわり方 何でも食べよう	目の役割り よい姿勢と悪い姿勢 朝ごはんを食べよう	目の疲労 内臓と背骨と姿勢 偏食と健康	<ul style="list-style-type: none"> 目の健康 よい姿勢 運動と学習 	近視の原因と予防 姿勢の健康への影響 運動と学習
11	<ul style="list-style-type: none"> かぜの予防 寒さに負けないからだ ストーブと換気 	うがいしよう 外遊びしよう 窓をあけよう	うがい手洗いの励行 体のあたたまる運動 空気の入れかえと効果	うがい手洗いの効果 うす着に心がけよう 換気の必要性	<ul style="list-style-type: none"> かぜの予防 たばこの害 環境衛生 	かぜをひかないための生活 たばこと中学生 暖房と室内の環境
12	<ul style="list-style-type: none"> 衣服の調節 冬休みの過ごし方 	外あそびの服装 食べすぎに気をつけよう	部屋の中と外の服装 夜ふかしをしない	洋服の上手な着方 きまりある生活をしよう	<ul style="list-style-type: none"> 衣服の調節 冬休みの生活 	効果的な衣服の調節 冬休みの健康的な生活
1	<ul style="list-style-type: none"> かぜの予防 冬の衛生 	元気な朝 手足をきれいに	いつもと違う体の調子 ひび・しもやけの予防	自分の健康観察 ひび・しもやけの予防	<ul style="list-style-type: none"> かぜの予防 受験生の健康 	インフルエンザの猛威 受験生の健康
2	<ul style="list-style-type: none"> よい姿勢 テレビの見方 心の健康 	ポケットから手を出そう 時間を決めて見る お友だちと仲よく	ちぢこまったからだ 目の疲れとテレビ 助け合う友だち	寒さと姿勢 生活とテレビ 男女の協力	<ul style="list-style-type: none"> 成長と栄養 異性への関心 心の成長 	中学生のからだと栄養 男女の交際 友だちの中の自分
3	<ul style="list-style-type: none"> たいせつな耳 一年間の健康生活のまとめ 	耳のやくめ かかった病気とケガ	耳の病気と安全 健康生活の反省	耳の健康 健康生活の反省と自己評価	<ul style="list-style-type: none"> 耳の健康 一年間の健康生活のまとめ 	耳の機能と健康 健康生活の反省と自己評価

学級指導資料（試案）

1. 主 題 汚れやすい歯のみがき方
2. ねらい 汚れやすい歯やその部位を知り、みがき方を工夫することができるようにする。
3. ねらい達成に向けての考え方

学童期は乳歯から永久歯へ生えかわる大切な時期である。しかし、せっかく生えかわった永久歯がむし歯になることが多い。特に奥歯は形や位置からしてもみがきにくくむし歯になりやすいので、自分なりに工夫してみがきのこしがないようにして、むし歯を予防する習慣を身につけさせたい。

4. 展開例

	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
つ か む	<ul style="list-style-type: none"> ・ビデオ視聴 （一歯の健康一） ・歯列カードに自分が気づいた汚れやすい歯、部位に色をぬらせる 	<ul style="list-style-type: none"> ○汚れやすい歯や汚れやすい部位があることに気づかせる <ul style="list-style-type: none"> ・自分や友だちの口腔内を見て気づかせる ・奥歯、歯と歯の間、歯と歯肉のさかい目などに汚れがつきやすい（むし歯の治療がしてあるところも汚れやすいところ）
つ き つ め る	<ul style="list-style-type: none"> ・汚れやすい歯、部位はどこか、色ぬりしたものを発表させる ・奥歯のみがき方の工夫を発表させる（自分はいつものようにしてみがいているか） 	<ul style="list-style-type: none"> ○汚れやすい歯（奥歯）がわかったら、奥歯の形に合うみがき方はどうすれば良いか考えさせる <ul style="list-style-type: none"> ・くぼみは歯ブラシの毛を強くあてて力を入れてかき出す ・歯と歯の間は歯ブラシをまわすようにゆっくりみがく ・歯ブラシをたてにしたり横にしたりして毛のあて方を工夫する ◎歯の汚れを落とす方法を毛のあて方、力の入れ方の二点からとらえさせる <ul style="list-style-type: none"> ・ゴシゴシこすらないとよく落ちない ・手首を使うと力が入りやすい
意 欲 づ け る	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で工夫してみがいてみる ・良くみがけたか鏡や友だちどうして口の中を確認し合う 	<ul style="list-style-type: none"> ・汚れやすい歯に気をつけて1日3回食後の歯みがきをする。歯みがきができない時は、ブクブクうがいをして常にむし歯予防に心がけるように意欲づける

- ・準備するものは、歯列図、歯ブラシ、コップ、手鏡
- ・習慣づけに歯みがきカレンダーの用意があります。希望の学級は、の朝までに申し出て下さい
- ・主題とねらいだけはおさえて、各学年学級の実態に即した指導に変えて下さい
- ・別紙資料を活用し学級に合った指導にして下さい

歯の役目

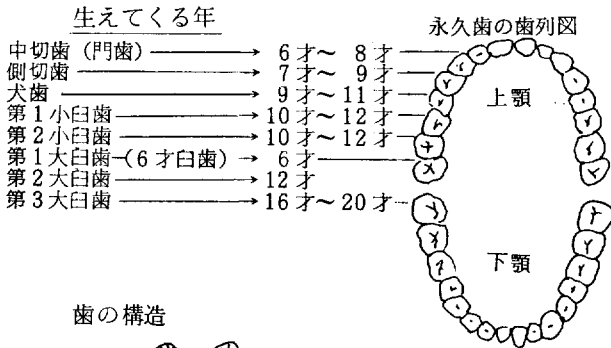
- ①発音 ②顔の形 ③消化 (前歯-噛み切る 犬歯-引き裂く
 臼歯-噛み砕く 臼歯-すりつぶす)

乳歯

- 乳歯が生え始めるのは生後6ヶ月ぐらいからですが、乳歯の芽の様なものが発生するのは妊娠7週目ごろです。その時の胎児の体長はわずか1cm位です。満2才で合計20本(乳切歯8本 乳犬歯4本 乳臼歯8本)の乳歯が生えそろういます。

永久歯

- 永久歯がはえるのは乳歯よりも5~10年後になりますが、その歯芽自体は乳歯同様母親の胎内にいる時期に発生します。乳歯の歯芽より深いところで、長い時間をかけてゆっくりと形成されます。

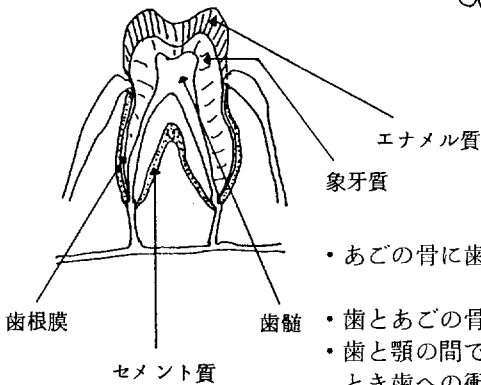


- ・歯冠の表面をおおっていて主にカルシウムとリンできている。
- ・体の中で最も硬い組織であるが酸に弱い。
- ・神経がないので、むし歯になっても痛みがない。

- ・骨と同程度の硬さの組織。
- ・知覚神経が通っているの、むし歯がここに達すると冷たい物がしみる。

- ・神経や血管が集まっていて歯の知覚や栄養をつかさどっている。
- ・ここが冒されると、激しい痛みがある。「神経をぬく」というのは、この歯髄をとることで。

歯の構造



- ・あごの骨に歯根を固定する役目をしている。

- ・歯とあごの骨を結ぶ腺維の集まり。
- ・歯と顎の間でクッションの役目をしている。硬いものを噛んだとき歯への衝撃は直接あごの骨には伝わらない

むし歯

微生物因子+糖質因子+歯質因子=むし歯

微生物因子

- ・歯垢の約70%は細菌からなり1mg中に30種類1億個ほどの細菌が存在していると言われています。むし歯の原因菌の中で主役はストレプトコッカス・ミュータンス菌という細菌である。

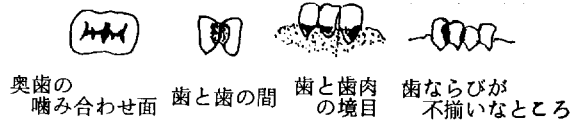
糖質因子

- ・細菌が増殖するのは糖質を栄養源とするからです。糖分が多く歯につきやすいベタベタしたお菓子は、むし歯を作り易いと考えられています。

歯質因子

- ・歯の質と形の問題です。歯の質は栄養状態、年齢、行動、唾液、免疫等によって個人差があり、歯質のよくない人はむし歯に冒されやすい。

歯の形から細菌の生息しやすい場所・歯ブラシの届きにくい場所があります。

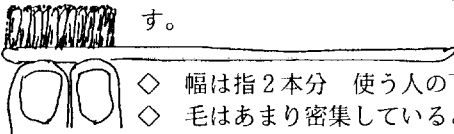


- ・微生物因子，糖質因子，歯質因子の全部が重なった時にむし歯は発生します。
- ・口の中に細菌があっても糖分がなければむし歯はできません。
- ・歯の質が強固であれば微生物因子と糖質因子がそろっていても，むし歯にはなりにくいです。

むし歯の及ぼす影響

1. 発育への影響 歯は栄養分を吸収しやすいように食物を噛み砕きます。むし歯があるとどうしても特定の歯だけで噛むようになるため，咀嚼能力が半減し胃腸の消化吸収率を低下させます。消化不良や胃腸障害を起こします。発育期にむし歯が多いと正常児に比べ発育の遅れが目立つようになり知能の発達にも微妙に影響を与えます。
2. 発音への影響 前歯がないとサ行ハ行の発音が，奥歯がないとラ行の発音が上手にできなくなります。
3. 顔表情への影響 むし歯が痛くて片側の歯だけで食べ物を噛んでいると，噛んでいない側の顎の骨の発育が悪くなり顔の形がアンバランスになります。前歯にむし歯があると，恥ずかしさのために笑うことを避けたり，無口になったりします。子どもらしい快活な表情を無くしてしまいます。
4. 心理的精神的影響 発音や顔・表情への悪影響による劣等感が原因で，他人と接する事を嫌い内向的な性格になることもあります。また上手に噛めない状態が続くとイライラして精神的に落ち着きがなくなります。
5. 永久歯への影響 乳歯は永久歯に比べて歯質がもろいのでむし歯の進行が早く，歯の根が化膿したりすると，その下にある永久歯のエナメル質が不完全なまま形成され，むし歯になりやすい永久歯がはえてきます。むし歯などが原因で生え変わる時期以前に乳歯がぬけてしまったような場合，歯並びや上下の歯の噛み合わせを乱すこととなります。
6. 全身への影響 むし歯の進行によって歯の根の先に病巣ができると，血液やリンパ液を通じて全身に病原菌が運ばれ，思いがけない病気にかかることがあります。

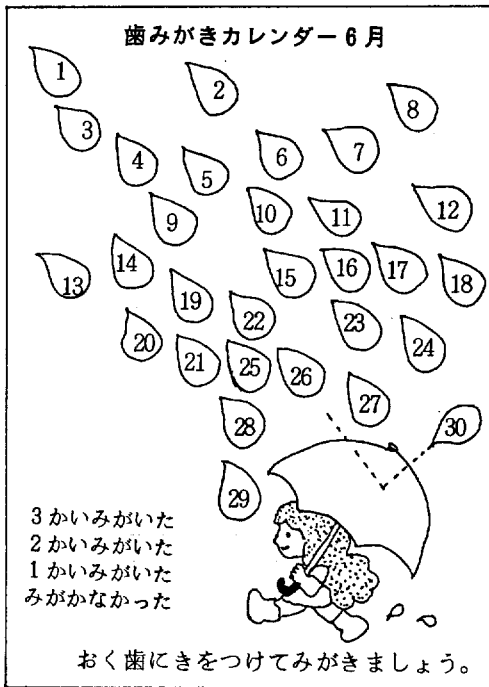
歯ブラシ



- ◇ 幅は指2本分 使う人の下の歯3本分をカバーできるものが適当
- ◇ 毛はあまり密集していると，磨きにくく乾きにくいので不衛生になりがちです。
- ◇ ブラシは硬すぎると歯肉や歯全体を傷つけることとなりますが，柔らかすぎても汚れが落ちません。適度な硬さと弾力性が必要です。
- ◇ 毛が曲がっていたり，広がっていたりしてはきちんと歯面を磨けません。交換する必要があります。

上から見て毛が脇からはみ出しているものはよくありません。





先生方へお願い

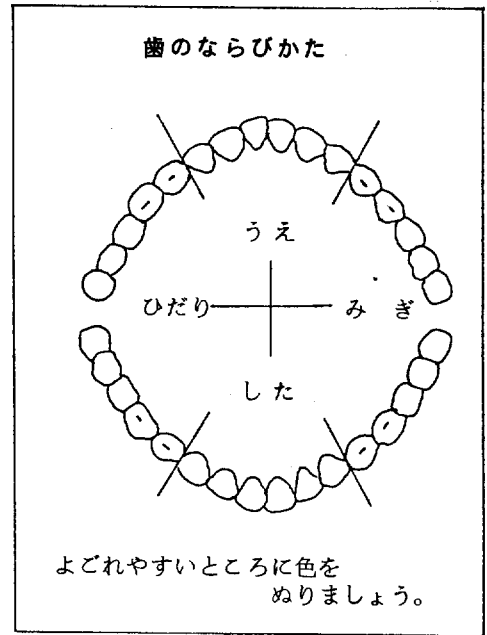
「歯について」の学級指導のためにビデオを試作してみました。
 ・ねらい 歯は汚れやすいものであり、汚れる部位がある事を気づかせ、
 歯の健康についての学習に取り組ませる（導入）ためです。

*ご面倒でしょうが研究のためご意見をいただけると幸いに存じます。

担当学年 年

- 1 画面は、ねらいにありましたか。
- 2 課題はどうですか。
- 3 学習の動機づけになりましたか。
- 4 ビデオについて児童の反応はどうでしたか。
- 5 技術的に未熟ですが、良い場面がありましたか。
- 6 「むし歯予防」の指導のために、先生はどのような指導資料を希望なさいますか。（ビデオで作れるもの）
- 7 その他

* お忙しいところご記入ありがとうございました。技術的な事も含め何なりと教えてください。



保健の先生が、みなさんに聞きたいこと

今日「歯」についての勉強をしたとき、始めにビデオをみましたね。

それについて、みなさんが感じたことを教えてください。

(あてはまるものを○でかこんでください。) 年 組 男・女

- 1 テレビをみて、何の勉強をするのかわかりましたか。
 ・わかった ・わからなかった
- 2 ときどき、保健の勉強をしますが、テレビをみているのと、先生のお話だけのどちらがよいですか。
 ・テレビがあったほうがいい。 ・先生の話だけでいい
 ・紙しばいがいい ・模型や絵での話がいい。
- 3 今日のテレビでよくわかったところはどこですか。
 ・食器を洗うところ ・おかしを食べるところ
 ・「め」の字が見えないところ
 ・チョコレートを食べた後うがいをするところ（うがいを何度もしないと口の中がきれいにならないということ）
 ・歯ぐきの近くが赤く染まったところ ・みんなが歯をみがくところ
- 4 どこどころが一番おもしろかったですか。書いてください。

- 5 今日は、歯の勉強をしました。あなたはけさ歯をみがいてきましたか。
 ・みがいた ・みがかなかった ・わすれた

先生が、皆さんの勉強の助けになるようなビデオを作りますからまた見てください。